学校番号	1202

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『現代の歴史総合』　（山川出版社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間経過の軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

【知識・技能】
・近現代の歴史を理解し、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせるための基礎知識を習得する。
【思考・判断・表現】
・時期や年代、推移や比較、相互の関連や現在とのつながりを多面的・多角的に考察し、近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色を考察する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】
・よりよい社会の実現を視野に、近現代の歴史への考察を通して課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。″	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	諸地域世界の形成	・東アジア ・南アジア・東南アジア ・西アジア ・ヨーロッパ	a:中国の諸王朝と皇帝による支配について理解している。東南アジア世界が、インドと中国から受けたさまざまな影響を理解している。オリエントでおこった文明と大帝国の興亡を理解している。オリエント文明から地中海世界の形成へのつながりを理解している。 b:中国を中心とする朝貢貿易による国際秩序のあり方と、ヨーロッパの自由貿易の考え方の相違点について考察している。ユーラシア大陸の東西を結ぶ「海の道」の要所となった南アジア・東南アジアにおける文化的な広がり方を宗教の観点から考察している。古代文明に特徴的な王権のあり方や大帝国のあり方を考察している。西ヨーロッパ世界と東ヨーロッパ世界にそれぞれ広まったキリスト教の違いを写真資料の違いから考察している。 c:地図を活用しながら中国の王朝の変遷を確認し、狩猟・遊牧民と農耕社会の関わりについて分析しようとしている。南アジア世界や東南アジア世界の国々が歩んできた歴史を確認し、今日の社会のあり方に影響をあたえている点を見出そうとしようとしている。スラーム教の成立や拡大を確認し、信者の生活を体系的に規定する宗教であることを追究しようとしている。 図を用いて、ギリシア・ローマの古典文化がビザンツ帝国やイスラームによって保存・継承されたことを説明することに取り組もうとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	結びつく世界	・アジア諸地域の繁栄と日本 ・ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 ・19 世紀後半のヨーロッパ ・19 世紀のアメリカ大陸 ・西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ・中国の開港と日本の開国	a:16 世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解している。琉球とアイヌが東アジアではたした役割を理解している。ヨーロッパで成立した主権国家体制と、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解している。15～16 世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と探検についてまとめている。 b:アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現している。清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察し、表現している。宗教改革とヨーロッパ人の海外進出、および宗教改革と科学革命の結びつきについて考察している。ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察している。 c:アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。江戸時代の日本の対外貿易を、東アジアだけではなく世界的な観点から再構築しようとしている。ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追究しようとしている。「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」＝グローバル化の共通点と相違点を見出そうとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の	・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・19 世紀前半のヨーロッパ ・19 世紀後半のヨーロッパ ・19 世紀のアメリカ大陸 ・西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ・中国の開港と日本の開国	a:大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解している。アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。クリミア戦争の経過とその重要性を理解している。どのような人々がアメリカ大陸へとわたったのかを理解している。中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解している。 b:産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察している。アメリカ独立革命がその後の世界にあたえた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。資本主義に対抗する論理として社会主義がうみ出された背景について、具体的な人物などをあげながら考察している。ビスマルク外交の基本方針が、どのように外交政策に反映されたかを考察し、表現している。太平天国の乱後の中国における改革とその限界について考察している。 c: 産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしている。今日の国家につながるイタリアやドイツの統一が、ヨーロッパのパワーバランスにどのような影響を与えたのかを検討しようとしている。独立当初のアメリカ合衆国は必ずしも今日のような大国であったわけではなかったことを理解し、西方への領土の拡大がアメリカ合衆国の発展とどのように関係しているのかを追究しようとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	明治維新と日本の立憲体制	・明治維新と諸改革 ・明治初期の対外関係 ・自由民権運動と立憲体制	a: 大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯を理解している。明治新政府が、諸外国と具体的にどのような関係を築こうとしたかをまとめている。自由民権運動の展開について、民撰議院設立の建白の史料をもとに、その目的を整理し理解している。 b: 大政奉還の上表・五箇条の誓文の史料を読み、新政府の方針を比較して共通点・相違点を考察している。日本が導入した欧米からの新技術について具体的に考察している。自由民権運動の展開について、民権運動の担い手側と政府の側の双方についてその動きを比較して、表現している。 c: 新政府の方針をとらえるとともに、諸藩がどのように対応したかを、新政府側、諸藩側の立場にたって探究しようとしている。岩倉使節団が、具体的にどのような国々を訪問し、何を視察して帰国したのか調べ、協議し、追究しようとしている。大日本帝国憲法の史料を読み、その内容について現在の日本国憲法と比較して、相違点や共通点について具体的に追究しようとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

2学期	帝国主義の展開とアジア	・条約改正と日清戦争 ・日本の産業革命と教育の普及 ・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強の対立 ・日露戦争とその影響	a: 明治政府の条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか理解している。日本の産業革命について、どのような特色をもち、国内や貿易にどのような影響をおよぼしたかを理解している。第２次産業革命の概要を理解し、その後の経済活動にあたえた影響を理解している。アフリカ大陸が植民地化されていく過程を理解している。列強が中国に進出したことに対して、中国の人々はどのように対応したかを理解している。 b: 日本が、朝鮮・清に対してどのような過程を経て条約を締結したかを表現している。帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。列強とよばれる国々が、世界の大半の地域を支配下におさめていく過程を年表にまとめ、整理し、考察している。中国で列強の権益獲得の動きが活発化したことで発生した民衆の動きを表現している。 c: 山県有朋首相の演説や「脱亜論」の史料を読み、その内容を比較して、相違点や共通点を具体的に追究しようとしている。産業革命の発展について、産業別に比較し、具体的に考察し追究しようとしている。日露戦争の結果、日本国内や周辺地域（朝鮮・満洲）にどのような影響をおよぼしたか、多面的に追究しようとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	第一次世界大戦とロシア革命	・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・大衆消費社会と市民生活の変容 ・社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	a: 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。第一次世界大戦後のパリ講和会議、ワシントン会議における各国の思惑を理解している。第一次世界大戦後のアメリカにおける大衆化と保守化について理解している。大戦景気が日本経済にあたえた影響を理解している。 b: バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。第一次世界大戦後のイギリス・フランス・ドイツ・イタリア各国における変化のあり方を、それぞれの国の当時の情勢から考察している。普通選挙を求める運動において、天皇機関説や民本主義がはたした役割について考察している。 c: ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。パリ講和会議、ワシントン会議における各国の思惑が条約の内容にどのような影響をあたえたのかを見出そうとしている。第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を国際社会の状況と比較しながら検討しようとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌の発生と各国の対応 ・ファシズムの台頭 ・日本の恐慌と満洲事変 ・日中戦争と国内外の動き ・第二次世界大戦と太平洋戦争	a: 世界恐慌の発生の原因・過程・結果について理解している。ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか年表にまとめている。日中戦争のおこった背景・過程について理解している。第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 b: 世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。ソ連の体制とファシズム体制はどのような点で類似していたかを考察し、表現している。二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめて、その動向を表現している。日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。 c: ドイツの拡張政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのように対応していったのかを追究しようとしている。満洲事変の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の満洲での政策を追究しようとしている。日中戦争の長期化は、日中両国の人びとや国際社会にどのような影響をもたらしたのか、多面的・多角的に追究しようとしている。第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	戦後の国際秩序と日本の改革	新たな国際秩序と冷戦の始まり ・アジア諸地域の独立 ・占領下の日本と民主化 ・占領政策の転換と日本の独立	a: 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか理解している。中華人民共和国の成立の過程を年表にまとめて理解している。戦後の日本の改革を年表にまとめている。日本の独立回復のための、単独講和論と全面講和論のそれぞれの主張を理解し、国際社会へどのように復帰したか理解している。 b: 国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応していくか考察している。東アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。日本国憲法の制定の過程を考察し、どのような手続きを経て公布、施行されたかを表現している。サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の史料を読み、日本が認めた内容を考察している。 c: 冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程・結果を追究しようとしている。第二次世界大戦後のイスラエル成立によりパレスチナ問題が深刻化したことについて考察し、どのようにして解決できるかを追究しようとしている。日本の占領政策が、民主化優先から経済優先へと転換された理由・過程を、国際社会の動向をふまえて多面的・多角的に追究しようとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

3学期	冷戦と世界経済	集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパの経済復興 第三世界の連携と試練 55年体制の成立 日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮へ 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放	a: 西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。東西冷戦を象徴する「ベルリンの壁」構築の背景を理解している。アジア・アフリカでの新興独立国の増加と「第三世界」の形成が、国際社会にあたえた影響を理解している。分裂していた社会党が統一するなかで、保守合同がおこなわれたことを理解し、二大政党の対立の実態をまとめている。ヨーロッパで進められた緊張緩和の動きを理解している。石油危機が発生した背景と世界経済にあたえた影響を理解している。中国における改革開放路線について理解している。 b: ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察している。韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを考察している。キューバ危機が核戦争の危機として緊張が高まったことを考察している。ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察している。 c: 地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制とおもな紛争地点から、その意図を見出そうとしている。中東戦争の過程のなかで形成されてきたイスラーム主義やムスリム同胞団が今日でもパレスチナ問題や中東情勢に関係をもっていることを見出そうとしている。今日の核軍縮と核保有国の実態について追究しようとしている。省エネルギー化（省エネ）やハイテクノロジー（ハイテク）化など今日にもつながる動きがうみ出されたことを見出そうとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

		・冷戦の終結と国際情勢 ・ソ連の崩壊と経済のグローバル化 ・開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化 ・国際社会のなかの日本	a: ソ連のアフガニスタン侵攻が米ソ関係の悪化と軍事費の増大につながったことを理解している。ゴルバチョフによるソ連の社会主義体制の改革「ペレストロイカ」の取り組みを理解している。冷戦終結前後の韓国と北朝鮮における政治情勢や台湾の民主化の推進について理解している。アメリカの中東政策に対する反発から、イスラーム過激派によって同時多発テロ事件がおこされたことを理解している。自衛隊の海外派遣が可能になった経緯を理解している。 b: イラン＝イラク戦争と湾岸戦争におけるアメリカの立場について考察している。共産党一党支配と連邦制がどのようにソ連邦の崩壊に結びついたのかを考察している。南アフリカでアパルトヘイト政策が撤回され、マンデラ大統領が誕生した要因を考察し、表現している。アフガニスタン戦争がそれまでの戦争とは異なる点を考察している。 c: チェルノブイリ原発事故の発生から、今日までの歩みをもとに事故の意味を追究しようとしている。市場経済の導入と民主化の要求に対する中国の対応について追究しようとしている。パレスチナ自治区において分離壁が築かれ、ユダヤ人入植地が拡大していることの問題点を見出そうとしている。日本の国際貢献のあり方の変化に、経済面などの日本の国際社会における影響力の変化を見出そうとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

	現代の課題	・現代世界の諸課題 ・現代日本の諸課題	a: ローバル化のなかで福祉国家体制のなかから、新たに登場した新自由主義について理解している。経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解している。エネルギー問題について、原子力発電の今後のあり方や自然エネルギーの活用について理解し、どのように対応していけばよいかを理解している。 b: 地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。自然災害について、過去の歴史も調査して、今後どのように対応していけばよいかを多角的に考察している。 c: 人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題にも着目して、どのように対応していけばよいかを追究しようとしている。経済発展にくわえ、観光立国としての取り組みについて追究し、これからの日本のあり方について取り組もうとしている。	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習のふり返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度